



日本自然 保護大賞

2019

授賞記念 シンポジウム

2019年 3月30日(土) 13:00~16:15 受付 12:30~ 国際文化会館・講堂

自然保護と生物多様性保全に大きく貢献した、子どもから大人まですべての個人と団体、企業、自治体等を表彰する「日本自然保護大賞」。第5回授賞者のみなさんから、地域の自然に根ざし、新しい発想や多様な協働で取り組まれている活動の成果をご発表いただきます。

特別講演



伝統的な物作りと環境活動

イルカさん

シンガーソングライター、IUCN 親善大使、
国連生物多様性の10年日本委員会委員、
日本自然保護協会参与

授賞活動発表

(各20分 / 発表順)

選考委員特別賞



西垣 慎治郎

ヤマセミー家の
子育て観察をとおして、
絶滅危惧種の保全をアピール



愛知県立木曾川高等学校 総合実務部

「イタセンバラかるた」で、
高校生が小学生に
保護の大切さを伝える



富士ゼロックス端数倶楽部

グループ社員の想いを集め、
自ら行動し、自然保護を促進

沼田眞賞



特定非営利活動法人
海浜の自然環境を守る会
大阪湾最奥に残る
自然海岸・甲子園浜を
未来へ受け継ぐ

大賞 保護実践部門



三嶺の森をまもるみんなの会
みんなで取り組む
「シカ食害で痛む三嶺の森」の
保護と再生

大賞 教育普及部門



鈴鹿・亀山地域親水団体連携体
亀山の自然環境を愛する会
水辺づくりの会 鈴鹿川のお座
魚と子どものネットワーク
世代の異なる
3団体の連携体による
水辺環境保全と次代の人づくり

大賞 子ども・学生部門



北海道士幌高等学校
環境専攻班・士幌環境講座
士幌の原植生、カシワ林を
後世に伝えるために

参加申込

参加無料 先着100名

- お名前
- ご所属
- メールアドレス

をお申し添えの上、**3月25日(月)** までにお申し込みください。

申込先

✉ award@nacsj.or.jp

もしくは

☎ 03-3553-4101

特別講演



伝統的な物作りと環境活動

イルカさん

「森羅万象からのメッセージがいつも届く心の持ち主でありたい」と、すべての生き物のいのちの大切さを込めて創られた楽曲「まあるいのち」は、CMにも起用され、多数の賞を受賞。広い世代に「生物多様性」を身近に感じてほしいと、絵本やCDアルバムの制作を続けるかたわら、伝統的な物作りにも「生物多様性」を取り入れたいと、2012年から京都の工房に通い、絶滅危惧種を描いた着物・帯などの創作も手掛けられ、各地の環境イベントや学校などでの講演活動に取り組まれています。

受賞者と活動

選考委員特別賞

西垣 慎治郎

兵庫県豊岡市に住む小学6年生の男の子が、2018年春に、工事現場の土の仮置き場に巣をつくってしまったヤマセミを偶然発見。営巣と子育ての観察記録を発表し、県の絶滅危惧種リストでBランクに指定されているヤマセミの生息環境保全を主張。

愛知県立木曾川高等学校 総合実務部

愛知県一宮市を流れる木曾川に生息する淡水魚のイタセンパラ。国の天然記念物で絶滅の危機に瀕している現状を伝えるために、「正しく」「楽しく」学ぶことができる「イタセンパラかるた」を制作し、小学生に向けて「かるた大会」を開催している。

富士ゼロックス端数倶楽部

富士ゼロックス・グループ約40社の社員等有志が、給賞与の端数を出し合って全国の自然保護団体を寄付支援。社員とその家族の現地活動への参加・協力等をととして、28年にわたり支援活動や学習活動を実施している。

沼田眞賞

特定非営利活動法人 海浜の自然環境を守る会

大阪湾の最奥にわずかに残る砂浜・干潟・磯の自然海岸・甲子園浜で、埋立反対に取り組んだ市民の想いを継ぎ、定点調査や自然観察会を継続。浜の変遷・歴史に関する記録や写真を集めるなど、広く市民に普及啓発している。

プレゼンター

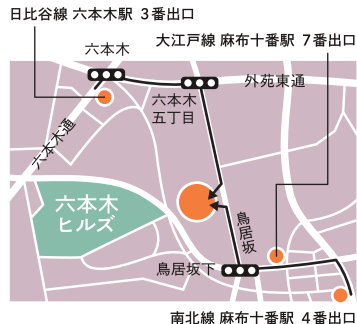
亀山 章
吉田 正人
石原 博
イルカ
神谷 有二
中静 透

日本自然保護大賞選考委員長 / 日本自然保護協会理事長 / 東京農工大学名誉教授
日本自然保護協会専務理事 / 筑波大学大学院教授
三井住友信託銀行(株)業務部兼経営企画部 CSR 推進室審議役 / 経団連自然保護協議会企画部会長
IUCN 親善大使 / シンガーソングライター / 絵本作家
株式会社山と溪谷社 自然図書出版部部長・デジタル事業推進室室長
総合地球環境学研究所特任教授

会場アクセス

国際文化会館

〒106-0032 東京都港区六本木 5-11-16 ☎ 03-3470-4611
■ 都営大江戸線 麻布十番駅 7番出口より徒歩5分(上り急勾配あり)
■ 東京メトロ南北線 麻布十番駅 4番出口より徒歩8分(上り急勾配あり)
■ 東京メトロ日比谷線 六本木駅 3番出口より徒歩10分



大賞 保護実践部門

三嶺の森をまらるみんなの会

高知県・三嶺の森では 2000年頃からシカの食害が進行。会結成後11年間にのべ3,400名が防鹿柵の設置、樹皮食い防止のネット巻き、土壌流出防止のマット張りなどに取り組み、実施場所を中心に着実な植生の再生が見られている。

大賞 教育普及部門

鈴鹿・亀山地域親水団体連携体

(亀山の自然環境を愛する会、水辺づくりの会 鈴鹿川のお庭、魚と子どものネットワーク)

三重県北部の亀山市・鈴鹿市で、目的や活動地がほぼ同じで構成世代の異なる3団体が連携体を組織。日常はそれぞれに世代を生かした活動をしながら、主要なプログラムは協力し合って取り組み、新しい地域活動モデルである。

大賞 子ども・学生部門

北海道士幌高等学校 環境専攻班・士幌環境講座

士幌町の原植生である学術的にも貴重なカシワ林。高校生らが、士幌町のカシワ林は1%も残されていないこと、そして生物多様性が低くなっていることを解明し、カシワ林の再生活動や保全PR活動に取り組んでいる。



The Nature Conservation Society of Japan

お申込・お問合せ先

公益財団法人日本自然保護協会
「日本自然保護大賞2019」担当

〒104-0033
東京都中央区新川1-16-10ミトヨビル2F

award@nacsj.or.jp
03-3553-4101

主催
協賛
後援

公益財団法人 日本自然保護協会
経団連自然保護協議会
環境省
国際自然保護連合日本委員会(IUCN-J)
国連生物多様性の10年日本委員会(UNDB-J)
自然保護憲章普及協議会

